

「地域と共にある学校づくり」実践紹介だより 第11号

連携・協働のカ・タ・チ

令和2年1月23日発行 福島県教育庁会津教育事務所



中学校の情報モラル講座で「オリジナル寸劇」を上演！

県立大沼高等学校 演劇部

大沼高校演劇部は、令和元年12月に会津美里町立高田中学校で開催された情報モラル講座で、スマホ依存の怖さをテーマにしたオリジナルの寸劇を上演し、中学生にスマートフォンの安全な使い方等について紹介しました。



【高田中学校の「情報モラル講座」でオリジナルの寸劇を上演した大沼高校演劇部の皆さん】



大沼高校演劇部 部長
児島 瑞希さんのお話

今回、中学生や演劇をあまり見たことがない方々に対して、スマートフォン依存の危険性を分かりやすく、楽しく観て体験してもらえるように、脚本を考え、練習に励んできました。オンラインゲームに依存する中学生を具体例にするため、依存する人々がどのような経緯で依存するに至ったか、また、どのような人が依存症になりやすいのかを、ネットや本で調べてから劇に臨みました。体育館でのこのような参加型の劇はあまり経験がなく、本番では思うようにいかない点もありましたが、中学生には劇やステージでの参加体験など、楽しみながら学んでもらえたようでやってみてよかったと思います。

今後も、見てくださる方々に笑顔と感動を届けられるような演劇ができるよう、日々努力していきたいと思っています。



この実践から学ぶポイント！

子どもたちのスマートフォン所有率が年々高くなるにつれて、SNS（会員制交流サイト）利用によるトラブルやスマートフォン依存等の問題が増加し、子どもたちに対する適正利用の指導が課題となっています。

情報モラル教育における中高生に対する働きかけとしては、保護者や教師など「大人からのアプローチ」、生徒会などの「同年代からのアプローチ」、大学生などによる「少し上の年代からのアプローチ」等、様々なアプローチがあります。その中でも、中高生に対しては、「少し上の年代からのアプローチ」が、特に効果的であると言われています。

大沼高校演劇部の取組は、中学生にとって、お兄さん・お姉さんの存在の高校生による「少し上の年代からのアプローチ」です。演劇という「強み」をいかして、地域貢献活動に積極的に取り組む大沼高校演劇部の今後の活躍が、とても楽しみです！